令和５年度「育てる漁業研究会」開催要領

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　公益社団法人　北海道栽培漁業振興公社

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　魚類養殖研究会

テーマ　「北海道のサケ・マス養殖の未来について」

～　種苗生産から販売戦略　～

【趣旨】

　近年、多くの水産物がその消費量を縮減させる中、サケ・マスの生食需要を背景に、いわゆる「サーモン」が日本の水産物市場を席巻しています。

　国内では、これまで三陸を中心にギンザケの海面養殖が行われてきましたが、堅実な生食需要等を契機に、国内各地でサケ・マス類の海面養殖が始まり、地域特産品としての「ご当地サーモン」が誕生しています。

　北海道においても、各地で漁業者や行政らが連携し地域が一体となったサーモン養殖試験の動きが広がっており、新たな水産資源の確立を目指す挑戦が活発化しています。

北海道では、沿岸部の海水温上昇に伴う秋サケなど主要魚種の来遊不振や、赤潮の発生によってウニ類などの沿岸漁業資源が大きな被害を受けたことなどを背景に、安定的な生産が見込まれる海面養殖に対する期待が高まっており、「第８次栽培漁業基本計画」において、新たにサケ・マス類を「養殖推進種」に定めて養殖技術の向上を後押しすることとしています。

このたび本研究会では、地⽅独⽴⾏政法⼈北海道⽴総合研究機構水産研究本部で設⽴する魚類養殖研究会と連携し、「北海道のサケ・マス養殖の未来について」をテーマとして、サケ・マス養殖の技術的・市場的そして経営的な課題等を考察し、北海道のサケ・マス養殖の未来への道を探っていく機会としていきたいと思います。

記

１　主　　催　　公益社団法人　北海道栽培漁業振興公社

２　共　　催　　魚類養殖研究会

３　後　　援　　北海道水産林務部

４　開催日時　　令和６年１月１９日（金）９：００～１２：１０

５　開催場所　　北海道第二水産ビル８階大会議室（札幌市中央区北３条西７丁目）

６　次　　第

　（１）開　　会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　9:00

　（２）開会挨拶　主催者挨拶　公益社団法人　北海道栽培漁業振興公社

　　　　　　　　　来賓挨拶　　北海道水産林務部

　（３）講　　演

　　　　①　9:15～10:15

　　　　　演題　　目標無くして経営無しっ！！

　　　　　講師　　横濱味紀行Fishon-net　代表　田中　達也

　　　　②　10:15～10:45

　　　　　演題　　北海道産養殖サーモンにおけるバリューチェーン構築について

　　　　　講師　　王子サーモン株式会社　専務取締役　北海道工場長　浅倉　徳司

　（４）事例紹介

　　　　①　10:45～11:10

　　　　　事例　　北海道初！トラウトサーモン海面養殖への挑戦

　　　　　報告者　八雲町サーモン推進室

　　　　　　　　　　次　長　多田　玲央奈

　　　　②　11:10～11:35

　　　　　事例　　『函館サーモン』誕生の軌跡について

　　　　　報告者　函館市漁業協同組合

函館サーモン養殖部会　松川　雅樹

　（５）総括ディスカッション　11:35～12:00

　　　コーディネーター　北海道栽培漁業振興公社　代表理事副会長 三宅　博哉

　　　パネラー　　　　　横濱味紀行Fishon-net　 代表　　　 田中　達也

　　　　　　　　　　　　王子サーモン株式会社　 専務取締役

北海道工場長 浅倉　徳司

　　　　　　　　　　　　八雲町サーモン推進室　 次長　　 多田　玲央奈

　　　　　　　　　　　　函館市漁協函館サーモン養殖部会　　　　　松川　雅樹

　（６）閉会挨拶　公益社団法人　北海道栽培漁業振興公社

代表理事副会長　三宅　博哉

　（７）閉　　会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　12:10